



人生100年時代! 長く 住み続けられる家

日本の住宅は欧米に比べ、建てられてから壊されるまでの期間が短いと言われてきましたが、省資源や住宅建築による費用負担の軽減や、住宅の資産価値の観点からも、住宅を長く使用することのメリットが、今、注目されています。

子育て時代から夫婦2人暮らし、 老後も考えた長期的な家づくり計画を

子どもが生まれ家族が増えることをきっかけにして、多くの人が家を建てたり住み替えることを考えるのではないのでしょうか。そこで一度、立ち止まって冷静に考えてみるのが大切です。今は子どもが小さいかもしれませんが、これから兄弟が増え、成長し、それぞれの部屋が必要になる。その後、子どもたちが独立して夫婦二人の生活に変わっていく。さらに将来、仲の良い友達夫婦や兄弟などとシェアハウスのように暮らすことも考えられます。また、民泊として1部屋を賃貸することになるかもしれません。老後には、

体の自由がきかなくなり、杖や車椅子を使って室内を移動することになるかもしれません。このように、いろいろと想像力を駆使して考えてみると、さまざまな可能性があることに気づかされます。

また、現代人の平均寿命はさらに伸び続け、近い将来、人生100年時代が来るとさえ言われていることを考えると、これからの家づくりは長寿命の住宅を建てるという選択も十分考えられるでしょう。

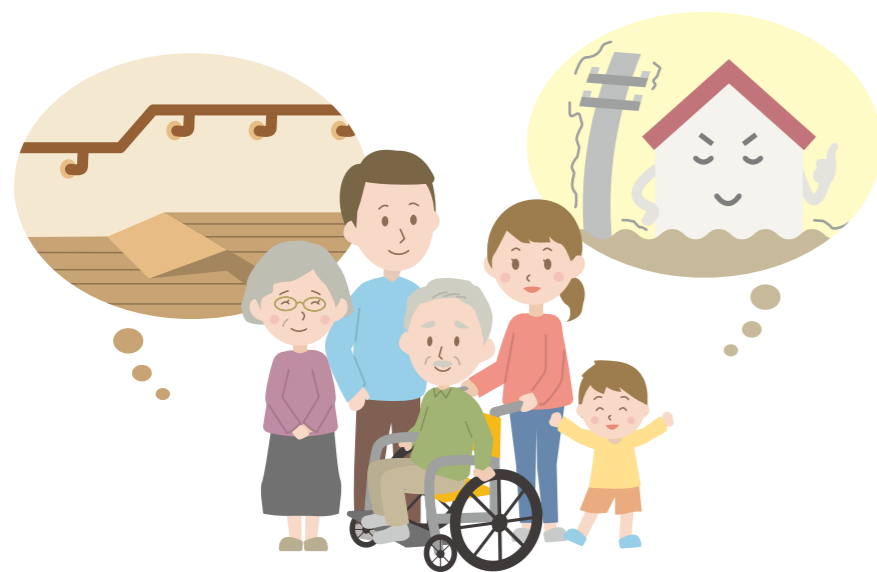
長く住み続けられる家は 環境に優しく高い性能が備わっている

長く住み続けることができる長寿命の住宅には、どのような特徴があるのでしょうか。

まず一つの特徴としては、大きな地震にも強く倒壊しにくい耐震性があること。次に劣化対策として構造や骨組みがしっかりして、点検・補修・リフォームのしやすさに配慮されていること。また、社会的な資産として、光熱費を抑えることができる省エネ性能やバリアフリー性があること。さらには、将来のライフスタイルの変化に応じて間取りなどに可変性があることなどもポイントにあげられます。このほか、住戸面積が広く確保されていることや、維持保全計画が建てられていることなどの条件をクリアして長期優良住宅として認定されれば、各種減税や住宅ローンの優遇措置が受けられるメリットもあります。

「FPの家」は、長期優良住宅の基準も簡単にクリアできるほどの省エネ住宅で、耐震性においても、FPパネルは一般の筋交いより高い強度があるため、地震の被害を最小限に抑えられる性能があります。加えて壁の中が経年劣化しないので長期間、良好な状態で住むことができます。

住宅を長期にわたって使用することは、住宅の解体や除去に伴う廃棄物の排出を抑制し、環境への負担を低減するとともに、建て替え費用を削減できる、住宅を資産として次の世代に残すことができるなど、さまざまなメリットがあります。

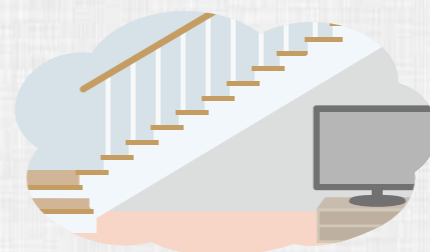


住まいの知恵袋

間取りと階段の関係

2階建住宅の新築を検討する場合、家全体の間取りに大きく影響する階段の位置。1階と2階をつなぐ導線でもある階段の配置を間違ってしまうと、各部屋を移動するのに不便であることに加え、間取りもどこか不自然になり、住みやすさにも影響します。階段の位置を決めるポイントは、生活導線をシミュレーションしてみることに。外から玄関、階段を通って2階に行く場合や、リビングや洗面所、トイレなどから2階へ行く場合など、生活の中での導線を想像することで、暮らしやすい間取り、階段の位置がイメージできるはずです。

広々とした空間を演出できる人気のリビング階段も、自身の生活スタイルに合わなければデメリットにもなるので注意が必要です。



傘立て



雨で傘が活躍するこの季節。玄関をオシャレに演出する傘立てをDIY! 材料は100円ショップでカンタンに手に入る素材を使うので気軽にチャレンジしてみましょう。

まずは、45×20cmくらいのスノコ2枚をお好きな色にペイントしたら、上下と真ん中の左右端に結束バンドを通す穴を開けます。四角いトレーをスノコ2枚で挟むように置いたら、結束バンドを使ってワイヤーネット2枚をスノコに結合させます。スノコとワイヤーネットで四角い箱型を作ったら、その箱の中の2/3の高さのところ

に結束バンドを使ってワイヤーカードホルダーを固定。ここまでできたら傘立ては完成です。お好みで100円ショップで売っている飾りで装飾したら、さらにGOOD!

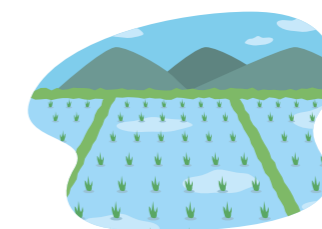
お金の豆知識

住宅ローン契約時の諸費用

住宅ローンには金利のほか、さまざまな費用が発生します。その中で最も高額なのがローン保証料。35年返済の場合、1000万円あたり20万円強が一般的。その他、契約書に必要な印紙や融資手数料、物件の抵当権を登記する登記費用などもあるので、ローン選びの際は金利も含めて検討しましょう。



暮らしの7ツポイント



水無月の由来

6月は陰暦で水無月(みなづき)と呼ばれています。雨が多いこの時期に、水が無い月とは違和感がありますよね。諸説はあるようですが、本来は、田植えの終わった田んぼに水を湛える「水の月」という意味で、「無」は「の」という意味の連体助詞の「な」であるという説が有力のようです。

教えて! Dr. 住まいる

部屋干しのコツ

ジメジメとした天気が続く梅雨は、洗濯物を室内で干す機会も多くなりがちです。そんな時は、新聞紙をクチャクチャと丸めて全体にシワをつけてから広げて、洗濯物の下に敷いてみてください。余分な湿気を新聞が吸収して、気になる部屋干しのニオイも取ってくれるので一石二鳥です。ぜひお試しあれ。

